

学校経営の基盤

- (1) 公教育の立場を踏まえて  
憲法をはじめ教育基本法や学校教育法等諸法令を踏まえ、全体の奉仕者としての自覚と責任感、使命感を持って、平和国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健全な子どもの育成を目指して教育を行い、国民の負託に応える。
- (2) 時代の要請に応じて、新しい学校教育の創造を  
学習指導要領や教育委員会の方針（子どもの未来をひらく教育プラン）に基づき、新しい時代を心豊かにたくましく生きる資質や能力を持った子どもの育成を図るために、全ての教職員が結束・協力して学校教育の充実に努め、創意と活力に満ちた特色ある開かれた学校を目指す。（スクールプランとの連動）
- (3) 子どもや保護者にとって魅力ある学校を  
子どもが達成感や充実感を持ち、保護者から信頼される教師のいる学校を築く。特別活動を基盤によりよい人間関係を築く学校経営を実践する。

学校教育目標  
豊かな人間性をそなえ、主体的で確かな実践力をもつ児童の育成

めざす児童像

- 熱心に勉強する子ども（知）
- なかよく明るい子ども（徳）
- たくましくがんばる子ども（体）

めざす学校像「ホットな学校づくり」  
29年度重点目標 《一生懸命、挑戦・心から、感謝》  
《子どもの心に炎・灯をつけよう！》

発見 Hakken  
学ぶ楽しさを発見できる学校

思いやり Omoiyari  
思いやりの心を育む温かい学校

チームワーク Teamwork  
チームワークを大切に  
する学校

保護者・地域・教師の願い 学校評価結果より

- ・ 安全でいじめのない学校づくりをしてほしい。（保）
- ・ これまで通り、学校が楽しい！と感じる学校に。（保）
- ・ 学力や体力を身に付けてほしい（保）
- ・ 家庭学習を充実させてほしい（保）
- ・ 挨拶ができる子に育ててほしい。（地）
- ・ お手伝いのできる子に育ててほしい。（地）
- ・ 我慢強く思いやりのある子になってほしい。（教）
- ・ 感謝の気持ちの持てる子になってほしい。（教）

校区の特性

- 交通の便に優れた、アパートやマンション中心の住宅地。
- ・ 工場、鉄道、国道に隣接した市街地
- ・ 公園が多く、皇后崎公園という大きな自然公園もある。
- ・ 子どもたちが愛情たっぷり大切に育てられている。
- ・ 保護者・地域は学校に対して協力的である。

HOTな学校づくり 《一生懸命、挑戦・心から、感謝》 《子どもの心に炎・灯をつけよう》

＜学ぶ楽しさを発見できる学校＞Hakken

- 学習規律の徹底
  - チャイムで始め、チャイムで終わる。
  - 学習の始め・終わりのあいさつを大きな声で
  - 最後まで相手（先生や友人）の話を聞く。
  - 正しい言葉遣いではっきりと話す。（単語×）
  - 学習道具を揃える。（必要なものだけを出す）
  - 姿勢を正しく、心をそろえる。
- 基礎学力の定着
  - 本校の目指す学力の定義を共有する。
  - 朝自習・放課後教室の充実
  - 家庭学習の充実（時間のめやす・自主学習）
  - 学習前後3問ミニテストなど
- 「分かる・できる・やってみよう」意欲的・主体的な学習
  - 導入→めあての設定→活動→繰り返し→振り返り
  - 教師の「問い返し」で一人一人に考えさせる授業へ。
  - 教師が語らず、「子どもが説明する」授業へ
  - 「できるようになったこと」など学習後の振り返り感想を。
  - 明るく楽しい雰囲気大切に。
- 45分を集中させる展開
  - 体験して考える活動を重視する。
  - 自分の考えをノートにかく時間を保障する。
  - 一時間の授業の中に笑いを入れる。
  - 子どもに黒板の前で説明させる。
- 特別支援教育の深化・充実を図る
  - 知的特別支援学級「あおぞら」の活用。通級教室との連携。
  - 特別支援を要する児童には特別な配慮を。（トラブル避ける環境）
  - 関係機関との連携の前にまず保護者との連携。MIMの実施

時間を守る

声を出す

そろえる

朝自習

ミニテスト

家庭学習

問い返し

声を出す

振り返り

＜思いやりの心を育む温かい学校＞Omoiyari

- 自己実現を目指す生徒指導の推進
  - 児童理解のための情報収集と共有→予防
  - 問題事象は、主任・管理職への報告及び、即日対応、家庭訪問。
  - いじめ調査月一回。全市統一調査年一回以上。
  - 対症療法でなく自己の生き方や将来を考えさせる攻める生徒指導。
  - 基本的な生活習慣や健全な生活態度の育成。（青山小のきまり徹底）
- 人間としてよりよく生きようとする心の育成（道徳教育）
  - 低学年：きまり身に付ける、あいさつ、善悪の判断（して良い悪い）
  - 中学年：きまりを守る、協力し助け合う
  - 高学年：きまりの意義理解、相手の立場の尊重、支えあう態度
- 人権感覚を育む人権教育の推進
  - 体罰の禁止・言葉の暴力、連帯責任の禁止。（だめ、だらしない、どうしようもない）（うざい、きもい、むかつく）
  - 温かい言葉づかい 「ありがとう、すごい、やるね、助かる、大丈夫？」  
※ だれにでも、いい言葉を、じぶんで考えて  
日常生活の中に増やす。ほめて価値付ける。
- 規範意識の徹底
  - あいさつ 「おはようございます、こんにちは」感謝の心  
※ だれにでも、いい声で、じぶんから
  - 黙々掃除 いつ・どこで・何をするか個々に明確に示す  
「しゃべらず一生懸命学校を磨き・心を磨く」  
※ だまって、いっしょうけんめい、じぶんで考えて
  - 揃える 名札・靴・かさ・ぞうきん・体操服・手・足・心…  
※ だれでも、いつでも、じぶんで
- 時間を守る 待たない・途中でも終わる
- 通行ルール右側通行、時速4キロ、弱者優先、職員室・保健室前静かに
  - ほめましょう 褒め言葉シャワー大会、昼放送やHOTニュースで。（価値付け） 学級通信で、保護者への連絡で、あゆみで・・・
  - やり直させる 子どもに責任をとらせる（掃除・廊下走・靴揃え）。

あいさつ

そうじ

言葉遣い

＜チームワークを大切にする学校＞Teamwork

- 活力溢れる教師集団の育成
  - 雑務軽減
  - （自己申告、自己評価、業績評価、学校評価の一体化）
  - 定時退校（水・金）家庭・家族を大切に。
  - 綱紀粛正（飲酒運転撲滅、個人情報保護、ハラスメント禁止）（個人USB・カメラ持込禁止）（相談員との連携）
  - 分掌した校務の企画・提案・実践で学校運営を手がける。
  - 管理職や同僚と連携・協力・協働（学年行事等の事前連絡）。
- 保護者との結びつきの強化
  - よいことをマメに保護者に知らせる努力を。（種まき）
  - 保護者は子育てに悩んでいる。相談に乗る気持ちで。
  - 通信、HP、一斉メール等で学校・学級の様子を知らせる。学級・学年通信等対外文書はフィックを受ける。1枚校長へ。
  - 定期的な学校参観を実施する。（学習参観、運動会、音楽会、開放週間、作品展、懇談会）
  - PTA活動への積極的な参加（バザー、バレー大会、理事会等）。
  - 学校評価制度、アンケートで保護者にも参画意識を。
- 地域との結びつきの強化
  - 地域の教育ボランティアへ感謝の気持ちを示す。（読み聞かせ、生活安全パトロール隊等 挨拶や手紙で）
  - 地域行事への積極的参加（合宿、市民夕夕祭、月見、講座等）。
  - 学校評議員との連携（年2回会議の実施）。
- 園・中学との結びつきの強化。
  - 保幼小中連携事業；穴生中、保育園・幼稚園との連携。
- 体力アップ（外遊びの推奨）で我慢強さ育成
  - 1校1取組 縄跳び・マラソンで体力アップ。持久走大会の実施
  - 体力テストの2回実施（4月・7月：体力の伸びを実感させる）
  - 若い先生は児童と遊ぶことから学級づくり。

報・連・相

雑談力

連携

安全第一

- 健康教育の充実を図る。
  - 8：35までに健康観察、8：40までに居所把握し伊予-杵連絡。
  - 怪我は保護者へ必ず当日連絡する。（連絡帳は×）
  - 怪我の病院行、病気の帰宅は管理職判断。必ず相談を。
  - 不登校、無断欠席には担任家庭訪問。

- 防災教育の充実を図る。
  - 毎月1回の交通安全指導・安全点検の実施。
  - 分団での登校指導、下校時刻の遵守。
  - 防災訓練の実施。（交通安全・地域含めた避難訓練）
  - 校外学習は1週間前に届け提出。

- 食育の推進
  - 食育指導に栄養士の活用。（訪問指導の活用）
  - 給食時間（12：15～13：00）13：15までには終わり昼休み確保。
  - アレルギー対応 おかわり・おみやげ禁止、異物混入の防止（引率）。
  - 調理や火気を使うときには管理職へ事前連絡を。